

消防ポンプ自動車
仕 様 書
(二戸消防署一戸分署)

令和6年度一戸町過疎対策事業

令和6年度

二戸地区広域行政事務組合消防本部

消防ポンプ自動車（CD-I型）仕様書

第1 総則

1 目的

この仕様書（以下「本仕様書」という。）は、二戸地区広域行政事務組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和6年度に購入する消防ポンプ自動車（CD-I型）（以下「当車両」という。）の製作及び艤装に関する仕様を定める。

2 適合法令

当車両の製作及び艤装にあたっては、消防ポンプ自動車（CD-I型）仕様書（以下「本仕様書」という。）に定めるほか、次に掲げる関係法令の規格、基準に適合するもので、日本消防検定協会の受託試験に合格したものであること。

- (1) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年10月15日自治省令第24号）
- (2) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (3) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
- (4) 消防ポンプ自動車の安全基準（平成19年5月14日消防第80号）
- (5) その他関係する諸規定

3 概要

当車両は、消防車専用シャシーにアルミボデー、アルミ製高圧2段バランスタービンポンプ、樹脂製（以下「GFRP」という。）小型水槽を装備するとともに必要器具を積載するものであって、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし、消火活動並びに各種災害活動に使用する消防自動車である。

4 製作上の注意

消防車両として最適の構造及び性能を十分に有し、次のとおりとすること。

- (1) 当車両は、本仕様書及び承認図（契約後、受注者側にて作成する。）に定める規格・基準をすべて満たし、緊急消防自動車として承認が得られるものとする。
- (2) 当車両は、火災及びその他の災害に対処できるよう各種資機材を積載し、迅速、適切なる災害の防ぎよ活動を目的とし、災害時における消防活動に供するために作成するもので、各部の構造及び装置は堅ろうで災害活動の酷使に十分耐えるものであり、かつ、維持管理が比較的容易で経済性に優れたものであること。
- (3) 本仕様書の中の「同等」とは、表示した銘柄の物品と同等であることを適切な手段により証明できる見本及び規格、性能証明書をもって証明すること。同等品の申請は入札前の当本部が指定した期日までに、諸元、性能、価格等の比較表を提出して当本部の承認を得ること。
- (4) 契約に当たっては本仕様書を熟知し、疑問な点は当本部と十分協議の上契約すること。
なお、契約後の一切の疑義は、当本部の解釈に従うこと。
なお、質疑応答事項は、本仕様書の追補とする。
- (5) 受注者は、本仕様書に基づく製作が完全に施工できるよう事前に検討を行い、車両納入までに発生したいかなる事故に対してもその責任を負うものとする。
- (6) 製作の進行に伴い、本仕様書に定めない事項又は細部についての疑義及び不明事項が生じたときは、直ちに当本部と協議し製作に万全を期すること。

なお、諸々の理由により本仕様書及び承認図に変更を必要とするときは、直ちに当本部に連

絡し、その指示を受けた後、速やかに確認の図書を提出して承認を受けること。

- (7) 本仕様書に定めない事項について、業者の公表した仕様並びに機能上及び製作上、当然必要と思われるものは施工すること。
- (8) 特許等工業所有権に関する法令、第3者の有する特許法、実用新案法、又は意匠法上の権利及び技術上の知識を侵害することがないように必要な処置を講ずること。これらの運用、適用にかかる費用は受注者が負担すること。
- (9) 取付品及び各資機材は、すべて新規製品とする。
- (10) 各装置及びパーツの取り付けは、原則としてボルト締め付けとすること。
なお、ボルト等は、必要に応じてネジロック剤を使用し確実に締め付けること。
- (11) 車体全般にわたり防水措置及び防錆措置を十分に行うこと。特に下廻りの部材の継ぎ目は、すべてコーキングをすること。
- (12) 清掃、点検、調整及び修理が容易に行えること。
- (13) 使用取扱上の安全性、操作性を十分に考慮したものであること。
- (14) 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分に考慮すること。
- (15) 水洗い整備ができるとともに、残水等の生じない構造とすること。また、器具接触等により塗装剥離のおそれのある部分には、適切な保護対策を講じること。
- (16) 本仕様書に明示されていない車体の構造、資機材の配置、引出装置、固定装置等については別途協議とする。

5 規格及び表示

(1) 規格

車両に使用する材料及び部品は、特に指定するものを除き、すべて日本工業規格（工業標準化法（昭和24年法律第185号）第17条第1項の日本工業規格をいう。以下同じ。）のものを使用すること。ただし、ネジ類については、ISOネジ又は、これに準じたものを使用すること。

(2) 表示

ア 車両に使用する絵表示以外の表示は、日本語、又は英語で表示すること。

イ 車両に使用する単位等の表示は、すべてSI単位で表示すること。

6 検査及び試験

(1) 中間検査

ア 当車両の主要部の艤装を終了した段階で実施するものとし、受注者は、当本部に検査日時、場所及び要領を記載した検査依頼書を14日前までに提出すること。

イ 組立後、目視できない部分については、写真撮影し中間検査時の資料として提出すること。

ウ 中間検査において、この仕様書と異なる箇所がある場合、速やかに修正するものとし、やむを得ず修正不能の場合は設計変更、改造の承認を受けるものとする。

なお、その場合は必要に応じて再検査を行う。この検査に係わる費用は受注者が負担すること。

(2) 完成検査及び試験

納入時に当本部が指定する場所において次の検査、試験を行うこと。

ア ポンプ性能試験

イ 走行試験

ウ 取付品、積載品及び附属品の検査

エ 車体、艤装、塗装検査

(3) その他必要に応じ検査を行うものとする。

7 納入場所等

(1) 納入場所 二戸地区広域行政事務組合消防本部（岩手県二戸市金田一字上田面 300 番地 2）

(2) 納入期限 令和 7 年 2 月 28 日

(3) 完成車納入の際は、燃料を満載にすること。

(4) 車両の操作、取扱い要領及び資機材の取扱いについては、各専門業者による説明指導を受注者の責任において実施すること。

なお、説明指導の実施日時については、車両の納入前に当本部と調整すること。

8 提出書類

(1) 受注者は、製作に先立ち、契約後速やかに次の書類を各 3 部提出し、当本部の承認を受けるとともに、製作中、仕様書に定めない事項又は細部についての質疑は、当本部と協議し製作に万全を期すること。

ア 製作工程表（案）

イ 車体艤装 5 面図（案）

ウ シャシー諸元表

エ ポンプ関係図

オ 真空ポンプ関係図

カ 配管図

キ 電気配線図（案）

ク 水槽計算書

ケ 各諸元明細表

コ 積載資機材等架装図（案）

サ その他当本部が指示するもの

(2) 納入時に次の図書を提出すること。

ア 日本消防検定協会の受託評価試験済証の写し 3 部

イ 最終艤装 5 面図 3 部

ウ 動力消防ポンプ性能試験表 3 部

エ ポンプ取扱説明書 3 部

オ 改造自動車等審査結果通知書の写し 3 部

カ 自動車検査証の写し 3 部

キ 緊急自動車届出済証の写し 3 部

ク 車両取扱説明書及び積載品取扱説明書 1 部

ケ 整備等の参考書 1 部

コ 保証書 1 部

サ その他当本部が指示するもの 必要部数

9 登録事務等

車両完成後、国土交通省東北運輸局岩手運輸支局長が行う新規登録検査のための手続きを代行し、当該検査を受けた後納入すること。これに要する自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料

及びリサイクル料金は当本部が負担する。

なお、登録ナンバープレートの数字4桁は「登録年(西暦)下2桁+登録月2桁」とすること。

10 保証等

納入後、保証期間は2年間とする。ただし、保証期間後であっても設計、製作及び材料不良等に起因する故障等問題が生じた場合、受注者の責任において無償で是正修復するものとする。

第2 仕様

1 艀装材料

艀装材料は、次に掲げるもの又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用すること。

(1) 主要材料の材質は次のとおりとすること。

部品名		材料
ポンプ	羽根車	日本工業規格 H5120 (銅及び銅合金鋳物) 日本工業規格 H5121 (銅合金連続鋳造鋳物)
	ポンプケース	日本工業規格 H5120 (銅及び銅合金鋳物) 日本工業規格 H5121 (銅合金連続鋳造鋳物) 日本工業規格 G5501 (ねずみ鋳鉄品) 日本工業規格 H5202 (アルミニウム合金鋳物)
	ポンプ軸	日本工業規格 G4303 (ステンレス鋼棒) 日本工業規格 G4102 (ニッケルクロム鋼鋼材)
	真空ポンプ	日本工業規格 H5120 (銅及び銅合金鋳物) 日本工業規格 H5121 (銅合金連続鋳造鋳物)
	真空ポンプ軸	日本工業規格 G4051 (機械構造用炭素鋼鋼材)
	重要動力伝導軸	日本工業規格 G4051 (機械構造用炭素鋼鋼材)
	重要動力伝導歯車	日本工業規格 G4052 (焼入性を保証した構造用鋼鋼材 (H鋼))
吸・吐水用配管		日本工業規格 G5501 (ねずみ鋳鉄品) 日本工業規格 G3452 (配管用炭素鋼鋼管)
ホースの結合用ネジ部		日本工業規格 H5120 (銅及び銅合金鋳物) 日本工業規格 H5121 (銅合金連続鋳造鋳物) 日本工業規格 H5202 (アルミニウム合金鋳物)
車の構成材		日本工業規格 G3101 (一般構造用圧延鋼材) 又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するもの
注 通水内面には防食処置を施すこと。(ただし、銅及び銅合金部分を除く。)		

(2) ステップ等は、アルミ縞鋼板を使用すること。

(3) 保護枠、計器板、蝶板、手すり、握り棒等その他金属露出部分及び外部に取り付けるボルト、ナット類はステンレス製部材を使用すること。

(4) コーキング及びシーリング材は、経年変化により硬化しない弾力性のあるものを使用すること。

- (5) 潤滑油及び各種作動油は、各メーカーが指定するものを使用し、規定量を入れておくこと。
- (6) 電池及び電池パックを使用するものは、各メーカーが指定するものを使用し、必要数を入れておくこと。
- (7) その他の材料は、次によること。
 - ア プラスチック類は、難燃性のものを使用すること。
 - イ ゴム製品及び合成樹脂製品は、耐油性のものを使用すること。
 - ウ 木材は、十分に乾燥したものを使用し、製作後、変形及び歪み等が生じ難いものとするこ
と。

2 主要諸元

- (1) エンジン 水冷4サイクルディーゼルエンジン（過給機付）
- (2) 総排気量 4,000 cc以上
- (3) 最高出力 消防検定出力及び公称出力が110kW（150ps）以上
- (4) 軸数 2軸
- (5) 駆動方式 4輪駆動（LSD付）
- (6) 変速装置 マニュアルトランスミッション（前進5段、後退1段）
- (7) 軸間距離 2,800 mm以上
- (8) 車両の長さ 6,000 mm以下
- (9) 車両の幅 2,000 mm以下
- (10) 車両の高さ 3,000 mm以下
- (11) 車両総重量 7,300 kg未満
- (12) 乗車定員 5名（前席2名、後席3名）
- (13) オルタネーター 24V-80A 以上
- (14) 蓄電池容量 24V-100AH 以上（130E41R 又は同等以上）
- (15) サスペンション 前 独立懸架式
後 車軸式

3 シャシー

(1) シャシー規格

- ア 令和5年度以降に製作されたものを使用すること。
- イ 日本消防検定協会の受託評価試験に合格したものとすること。
- ウ ダブルキャブ付き3t級の消防専用シャシーとすること。
- エ 最新の排出ガス規制及び騒音規制に適合すること。
- オ シャシーメーカー純正の寒冷地仕様とすること。

(2) キャブの構造

- ア キャブは、電動油圧式のチルト装置付で、故障時は手動でチルトできること。
なお、積載はしご昇降装置を格納した状態でチルトできない構造とすること。
- イ 床面には、フロアシートを張ること。
- ウ ルーフ
 - (ア) キャブバック、GFRP製ハイルーフとすること。また、ハイルーフ警光灯、スピーカー（50W×2）及びモーターサイレン（5SA型）を内蔵すること。
 - (イ) 前席の室内高は通常ルーフより約150mm程度高くし、後席の室内高は通常ルーフより

約 250mm 程度高くすること。

(ウ) 接合部の防錆及び防水の処理を確実にすること。

(エ) キャブ内ルーフ前方にオーバーヘッドコンソールを設け、当本部が指示する機器、スイッチ及び盤面照明等を取り付けること。

(オ) キャブ内ルーフ中央にルーフセンターコンソールを設け、各種資機材が収納できる構造とすること。

(カ) キャブ内ルーフ後方にルーフリヤコンソールを設け、各種資機材が収納できる構造とすること。

(キ) デジタルアンテナを 2 箇所設けること。

(ク) FOMA アンテナ及び GPS アンテナを各 1 箇所設けること。

(ケ) 受令機アンテナを 1 箇所設けること。

エ キャブ後席左右ドアの下方にサイドステップを設けること。

オ 後席左サイドステップ上部に燃料タンクカバー（アルミ縞鋼板製）を取り付けること。

カ 後席右サイドステップ上部にバッテリーカバー（アルミ縞鋼板製）を取り付け、車輪止め収納を設けること。

なお、車輪止め収納は出し入れが容易な構造とすること。

キ ドア

(ア) ドアは、片側 2 枚ずつの 4 ドアとすること。

(イ) すべてのドアに施錠装置を取り付けること。

なお、この施錠装置は、運転席で操作できる電磁式集中ドアロック装置付とすること。

ク 窓

すべてのドアに開閉式のガラス窓を取り付けること。

なお、すべてのドアのガラス窓は、電動で上下するパワーウインドウとすること。

ケ 座席

(ア) 座席は、前向きとし、前席 2 人、後席 3 人掛けとすること。

(イ) 座面から天井までの有効高さは、約 1,150mm 以上とすること。

(ウ) 座面及び背もたれの表面は、超防汚性及び耐久性に優れた材質とすること。（シートカバー可）

(エ) 隊長席は標準シートとすること。

(オ) 後席の背当は、着座して空気呼吸器の装着が容易に行える背もたれカットシートとすること。

(カ) 後席のレッグスペースは、十分な間隔を確保すること。

(キ) すべての座席にシートベルトを取り付けること。

コ フロントバンパー

フロントバンパーは、上面のほとんどを覆うようにアルミ縞鋼板製のステップを取り付けること。

サ 乗降の際、塗装剥離等損傷防止のため次の箇所には、アルミ合金製保護板又はアルミ縞鋼板を張ること。

(ア) キャブ乗降口 4 箇所

- (イ) 乗降用ステップ等の蹴込み部分
 - (ウ) その他必要と認める箇所
- シ 昇降のために必要な握り棒を次の箇所に取り付けすること。
- (ア) キャブ両側4箇所（ボデー同色）
 - (イ) キャブ内Bピラー（左右）各1箇所
 - (ウ) フロントガラス上方2箇所（ボデー同色）
- (3) 視界
- ア ヘッドライトは、LED型又は放電管バルブ型とすること。
 - イ フォグライトは、LED型又はハロゲンバルブ型とすること。
 - ウ フロントグリルの適切な位置にデイトイムランプ（青色LED）を取り付けること。
 - エ フロントウインドウにウォッシャー連動の間欠式ワイパーを取り付けること。
 - オ フロント左右に大型のアウトターミラー（ヒーター付）を取り付けること。
なお、鏡面は運転席から遠隔操作により調整できるものとする。
 - カ フロント左側にアンダーミラーを取り付けること。
 - キ フロント左側のアウトターミラーは、運転席から遠隔操作によりステアの根元から格納できるものとする。
 - ク フロント左側に隊長用の補助ミラー（黒色）を取り付けること。
- (4) 計器類
- ア エンジン回転計（100回転刻みの目盛り及びエンジンの高負荷を示すレッドゾーンを表示したもの）を取り付けること。
 - イ エンジンアワーメーターをキャブ内の適切な位置に取り付けること。
 - ウ バッテリーメインスイッチをキャブ内中央下部右側に取り付けること。
 - エ デジタル式電圧計をキャブ内の適切な位置に取り付けること。
 - オ デジタル式電流計をキャブ内の適切な位置に取り付けること。
なお、シャシー標準電装品及び架装電装品の合計の数値を検知できるよう適切に取り付けること。
 - カ 非常用PTOスイッチをキャブ内中央下部左側に取り付けること。
 - キ 上記の計器は、夜間用照明灯付（内部照明でも可）とすること。
- (5) 燃料タンク
- ア 燃料タンクの容量は、68ℓ以上とすること。
 - イ 燃料タンクは、キャブ左側下部の適切な位置に取り付けること。
- (6) 冷暖房装置
- ア 冷暖房装置は、シャシーメーカー純正品、又は同等以上の性能を有するものとする。
 - イ リヤヒーターを装備すること。
なお、前部座席、又は後部座席から容易に操作できること。
- (7) ステアリング
- ア ステアリング装置はパワーステアリングとし、チルトできる構造とすること。
 - イ SRSエアバックを運転席に内蔵すること。
- (8) ブレーキ装置
- ア 主ブレーキには、ABS（アンチロックブレーキシステム）を装備すること。

イ 補助ブレーキとして、排気ブレーキを装備すること。排気ブレーキはアクセルペダルに連動し、アクセルペダルを踏み込み中は、作動しない構造とすること。

ウ 坂道発進補助装置付きとすること。

(9) タイヤ及びディスクホイール

ア タイヤは、ブリヂストン製ミックスパターンとすること。

イ ディスクホイールは、鉄ホイールとすること。

ウ 応急タイヤ1本は、上記の組み合わせとすること。

(10) 自動充電装置

自動充電装置は、次のとおりとすること。

ア AC100Vの電源により、シャシー積載のバッテリーに自動的に充電する装置を取り付けること。

イ 過充電防止装置付きとすること。

ウ 自動充電装置と車両側コンセントを結線すること。

エ 車両側コンセントを次のとおり取り付けること。

(ア) 取り付け位置は、車体右側面の適切な位置とすること。

(イ) 車両側コンセントは、マグネット式コンセント（防水カバー付）とすること。

オ 電源コードは、オイルパンヒーターのコードを兼用とすること。

(11) 外部入力電源コンセント

外部入力電源コンセントは、次のとおりとすること。

ア 外部入力電源により、キャブ内に電源を供給するコンセント2口以上を適切な位置に設けること。

イ 過充電防止装置付きとすること。

ウ キャブ内コンセントと車両側コンセントを結線すること。

エ 車両側コンセントは、自動充電装置のコンセントと兼ねること。

オ 電源コードは、オイルパンヒーターのコードを兼用とすること。

(12) オイルパンヒーター

ア ヒーターは、AC100Vを電源とし、ヒーター本体は、次のとおりとすること。

(ア) サーモスタットスイッチ付きとすること。

(イ) エンジンクランク室内のエンジンオイルを有効に暖めることができるものとする。

イ ヒーター本体と車両側コンセントを結線すること。

ウ 車両側コンセントは、自動充電装置のコンセントと兼ねること。

エ 商用電源用付属ヒーターコードは、次のとおりとすること。

(ア) キャブタイヤコードとし、長さが10mで容量に余裕があるものとする。

(イ) キャブタイヤコードの両端には、それぞれ商用電源コンセント及びマグネット式コンセントを取り付けること。

(ウ) 商用電源コンセントは、丸型のゴムプラグ（2極接地極付・アダプター付属）とすること。

オ 配線及び結線部は、露出のないようにし、漏電及び防水対策を十分にとること。

カ 車体右側面の適切な位置に自動充電装置電源と共用の通電確認灯（緑色）を取り付けること。

と。

キ 上記通電確認灯に並べて、オイルパンヒーターの「入」・「切」スイッチ及びスイッチ「入」で点灯する確認灯（赤色）を取り付けること。

(13) キャブ内取付品

ア 運転席及び隊長席にサンバイザーを取り付けること。

イ 隊長席上部にアシストグリップを取り付けること。

ウ センターコンソールを運転席と隊長席の間に設けること。また、センターコンソールに当本部が指示する機器、スイッチ及び盤面照明等を取り付け、地図及び資機材を収納するボックスを兼ねる構造とすること。

なお、センターコンソールは運転操作の妨げにならないよう張り出し等を考慮するとともに、隊長席との間隔を十分に確保すること。

エ 電子サイレンアンプをダッシュバンの適切な位置に取り付けること。

オ 機能集中装置をダッシュバンの適切な位置に取り付けること。

カ 消防無線電話装置（当本部支給品）を適切な位置に取り付けること。

キ AVM端末機器（当本部支給品）を適切な位置に取り付けること。

ク 受令機（当本部支給品）をオーバーヘッドコンソール左部に取り付けること。

ケ 大型デジタル時計をオーバーヘッドコンソール中央部に取り付けること。

コ AM/FMラジオを適切な位置に取り付けること。

サ カーナビゲーションシステムをダッシュバン上部の適切な位置に取り付けること。

なお、電源は純正アクセサリースocketからの取り出しとしないこと。

シ バックアイカメラ映像表示用液晶モニターを純正ルームミラー位置に取り付け、映像を常時表示させること。

なお、常時表示及びバック連動表示を任意に選択できるものとする。

ス ドライブレコーダーをフロントガラスワイパー拭き取り領域の適切な位置に取り付けること。

なお、電源は純正アクセサリースocketからの取り出しとしないこと。

セ ETC車載器（アンテナ分離型）を適切な位置に取り付けること。

ソ DC/ACインバーターを適切な位置に取り付け、AC100Vコンセント（2口以上）を設けること。また、DC/ACインバーター主電源のON/OFFスイッチ（パイロットランプ付）を適切な位置に設けること。

なお、DC/ACインバーター本体及び配線は露出させないこと。

タ 室内灯を前席中央及び後席中央のキャブ内天井に、次のとおり取り付けること。

(ア) 室内灯はLEDとし、キャブ内全体を十分に照らすこと。

(イ) 室内灯の形状は、長方形（大型）とすること。

(ウ) 室内灯の取り付け位置付近にON/OFFスイッチを取り付けること。

なお、ドア開閉に連動させないこと。

チ ドア開閉に連動しON/OFFするルームランプを取り付けること。

ツ ドア開閉に連動しON/OFFするLEDフットランプをすべてのドアに取り付けること。

テ マップランプを次のとおり取り付けること。

(ア) 運転席及び隊長席上方の適切な位置に、LED灯（大阪サイレン LIA-W2、又は同等以上

の性能のもの)を取り付けること。また、LED灯の取り付け位置付近にON/OFFスイッチを設けること。

(イ) 隊長席上方及び後席左右上方の適切な位置に、フレキシブルLED灯(トヨタサージカル型、又は同等以上の性能のもの)を取り付けること。

ト 後席用の握り棒を後席前方(前席背面)に取り付けること。また、握り棒にはS字管フック標準タイプ(ビニールチューブ巻き)を10個取り付けること。

ナ トランジスターメガホン収納を適切な位置に2箇所設けること。

ニ ゴムネット製小物入れをキャブ内天井の適切な位置に4箇所取り付けること。

なお、大きさは、幅400mm、奥行300mm程度とすること。

ヌ 空気呼吸器等の取り付け部は、次のとおりとすること。

(ア) キャブバック部(170mm)に、空気呼吸器取付装置(ウォーカーウェーブブラケット、又は同等以上の性能のもの)を3基、1段型ステンレス製物掛け用フック(標準型)4個を空気呼吸器が干渉しないように適切に取り付けること。

なお、隊員が乗降する際に防火衣等が絡まない構造とすること。

(14) その他

ア フロントグリルは、純正クロームメッキとすること。

イ 消防章をフロントグリル中央部に直付けにより取り付けること。

なお、シャシーメーカー固有のマークは取り外し、取付け面を黒色とすること。

ウ 牽引用フックを車両の前後に取り付け、ワイヤー、シャックル等がバンパーに干渉しないように加工すること。

なお、車両前方の牽引用フックはバウシャックル(許容荷重2t以上)を取り付けること。

エ 器具の脱着時の塗装剥離防止のため、必要と認める箇所にアルミ合金製保護板又はアルミ縞鋼板を張ること。

オ 冷却水は、ロングライフクーラントを使用し、凍結温度を-30℃以下に設定すること。

カ 天井内張りは、難燃材以上の性能を有すること。

キ サイドバイザー(樹脂製)をすべてのドアに取り付けること。

ク フロアマット(ゴム製)を取り付けること。

ケ マッドガード(ゴム製、黒色)を全輪に取り付けること。

4 消防ポンプ装置等

(1) 主ポンプ

ア 型式 自動揚水装置付、高圧二段バランスタービン(インデューサー付き)

イ 性能 A-2級以上

ウ 規格放水量 0.85MPa 2,500L以上

エ 高圧放水量 1.4MPa 2,000L以上

オ 材質 本体主要部はAC製 ポンプ主配管の材質もAC製とする。

カ 駆動装置 シャシー固有のフルパワーPTO切替式

(2) 真空ポンプ

ア 型式 四翼偏心ロータリーポンプ

イ 性能 真空度は30秒以内に大気中の84%以上を有するもの。

- ウ 材質 主要部すべてBC製
- エ クラッチ 電磁式であること。(左右連動非常用回路付)
- オ 給油方式 完全無給油方式

(3) 自動揚水装置

ア ワンタッチのスイッチ操作による自動揚水装置を取り付けること。

イ 自動揚水装置は、次の一連の操作が自動的に行えること。

(ア) 真空ポンプの動力伝達

(イ) シャシーエンジンのスロットルアップ（真空ポンプの適正回転を維持）

(ウ) 消防ポンプ本体の真空作成

(エ) 吸水口からの給水

(オ) 真空ポンプ動力伝達解除

(カ) 吸水完了と同時にシャシーエンジンのスロットルダウン（アイドリング回転まで下げる）

ウ 別回路による手動操作装置を取り付けること。

(4) ポンプ操作盤

次のような操作パネルをポンプ操作部両側に取り付けること。

ア 真空ポンプの[作動/停止スイッチ][緊急作動スイッチ]と、各ボールコックの開閉状況、ポンプ及び真空ポンプの作動状況、水の流れや流量を示す液晶ディスプレイパネル（7インチ以上）で構成されていること。

イ 操作パネルの表示は、次のとおりとすること。

(ア) 消防ポンプ

(イ) 真空ポンプ

(ウ) ボールコック（吐水口、中継口、吸水口）

(エ) エジェクターバルブ

(オ) エンジン冷却水バルブ

(カ) 系統別配管（吐水配管、中継配管、エジェクター配管、エンジン冷却水配管）

(5) 吸水口及び吸管

ア 75mmのボールコックを車体中央部（吸管巻取装置）に1個設けること。

イ 75mmのボールコックを車両左側に1個設けること。

ウ 車体中央部に電動式吸管巻取装置を設け、吸管（75mm以上×10m）1本を巻取収納すること。なお、吸管は車体の左右どちら側からでも引き出せるようにすること。

エ 吸管引き出し口には、金属製の三方ローラー及び巻き取り装置下部に金属製の補助ローラーを設けること。また、電動吸管巻取装置の吸管巻取り速度は一定速度のものとする。（チェーンレス方式）

オ 左側の吸水口は、スィーベルエルボー（キャップ付）のみとし、吸管は4分割し車体上部に収納すること。

カ 吸水口のボールコックは、車両前方向で「開」とすること。

(6) エジェクター装置

ア ポンプ操作部両側にエジェクター装置を設けること。

イ 目視で確認可能な連続呼水装置を付置すること。

(7) 吐水口

ア ポンプ操作部両側に 65 mmボールコック各 2 個を設け、媒介金具は 65mm 差込オス及び 65 mm・50 mmマルチタイプ差込オス（スィーベル式）とすること。

イ 操作レバーは、全て車両中央で「開」とすること。

(8) 中継口

ア ポンプ操作部右側に吸水口兼用の中継口を設け、75 mmボールコック、ストレーナー及び媒介金具各 1 個を取り付けること。

なお、媒介金具は内ネジメス・65mm 差込メスとすること。（キャップ、チェーン付）

イ 操作レバーは、車両前方向で「開」とすること。

(9) 水槽補給口

車体左右の適切な位置に水槽補給口各 1 個を設け、ストレーナー及び媒介金具（内ネジメス・65mm 差込メス、キャップ・チェーン付）を取り付けること。また、排水ドレーン装置を設け、ドレーンパイプを車体下部まで延長すること。

(10) 水槽水取出口

車両両側補給口付近に、水槽からの重量による吐出口及び開閉バルブを設けること。また、ジェットシューター等に水補給を容易にするため、延長ホース等が取付けられる構造とすること。（専用ホース付き）

(11) ポンププロポーションナー及びバルブ

ア 右側面ポンプ操作盤付近の配管内にポンププロポーションナーを設けること。バルブを設け混合比を設定することが出来る仕組みであること。薬剤吸入口を設け、ホースを接続し吸入する仕組みであること。なお、その際使用するホースの収納場所は、使用場所付近とすること。

イ その他構造上必要と認める箇所には、コック又はバルブを適切に取り付けること。

ウ ポンププロポーションナーの性能は下記のとおりとすること。

(ア)放水範囲

A 火災用 50～2,000L/min

B 火災用 500L/min

(イ)薬剤吸引量

A 火災用 約 0.48～2.23L/min

B 火災用 約 1,520L/min

(12) 水槽

ア 水槽は、容量 1,300ℓ 以上で軽量、強靱、錆付きの無い GFRP 製とすること。

イ 水槽は、振動、衝撃等により損傷、緩み等を生じないように車台に固定して設けられ、水圧に対して変形及び水漏れのない構造とすること。

ウ 水槽内部は走行時の車両安定性を確保する為に水の重心移動を緩和する防波構造とすること。なお、防波板は GFRP 製とすること。

エ 水槽の GFRP 材の厚さは次のとおりとすること。

(ア) 側板、底部及び上部はすべて 10mm 以上とすること。

(イ) 防波板、補強及び骨組みの板厚は、応力等を十分に考慮すること。

オ 水槽内部は、点検、清掃、修理等ができる構造で、蝶ネジ止めマンホール蓋を設け密閉で

きるものであること。

なお、マンホールには水道水補給口（ワンタッチカプラー付）を設けること。

カ 水槽にはオーバーフローパイプ（100 mm以上）、水槽補給口及び水量計を設けること。

キ 水槽の水全部がポンプで給水できる 75 mmボールコック付きの吸水口を設け、ポンプ操作部両側より開閉操作できるものとする。

また、配管には緩衝装置を施すこと。

ク 水槽にはポンプによる自己補給をするための 65 mmボールコック付の送水口を設け、配管には緩衝装置を施すとともにポンプ操作部両側より開閉操作できるものとする。

ケ 逆流によるウォータハンマーから水槽を保護するため、タンク吸水コックとポンプとの間の配管に逆流防止弁を設け、吸水配管から水槽に逆流しない構造とすること。

コ 排水のためのドレインは、水槽底部の中央付近に取り付け、車体左側から容易に操作できる構造にし、必要に応じ保護枠を取り付けること。

サ 水槽内に、電子式水量計のセンサーを適切に取り付けること。

シ 受水自動コントロール装置（タンク停止弁）付補給口（呼称65差込メス、ストレーナー、覆冠付き）を車両両側に設けること。

(13) 排水装置

ア 主ポンプ、吸水口、吐水口、中継口及び水槽補給口等に排水装置を設けること。

イ 主ポンプの排水装置は、ポンプ起動スイッチと連動とすること。

(14) 不凍液注入装置

ア 主ポンプ、真空ポンプ等主要部の凍結防止を目的とする構造とすること。

イ 不凍液タンクは、容量 1.0ℓ以上（手動バルブ付）とし、液量が容易に確認できるものとする。

ウ 不凍液注入口は、不凍液の注入が容易にできる構造とすること。

(15) 凍結防止装置

ア 水槽ヒーター（AC100V-500W程度）を水槽内に、吸水コックヒーター（AC100V-20W程度）を吸水コック部分に巻き付けにより取り付けること。

なお、常時通電とすること。

イ ヒーター本体と車両側コンセントを結線すること。

なお、水槽ヒーター及び吸水コックヒーターの車両側コンセントは共用とする。

ウ 車両側コンセントを次のとおり取り付けること。

(ア) 取り付け位置は、車体後面の適切な位置とすること。

(イ) 車両側コンセントは、マグネット式コンセント（防水カバー付）とすること。

エ 車両側コンセント付近の適切な位置に、ヒーターの確認灯（赤色）を取り付けること。

オ 商用電源用付属ヒーターコードは、次のとおりとする。

(ア) キャブタイヤコードとし、長さが10mで容量に余裕があるものとする。

(イ) キャブタイヤコードの両端には、それぞれ商用電源コンセント及びマグネット式コンセントを取り付けること。

(ウ) 商用電源コンセントは、丸型のゴムプラグ（2極接地極付・アダプター付属）とすること。

カ 配線及び結線部は、露出のないようにし、漏電及び防水対策を十分にとること。

(16) 計器類

- ア ポンプ回転計をポンプ操作部両側に取り付けること。
- イ ポンプ圧力計をポンプ操作部両側に取り付けること。
- ウ ポンプ連成計（上部0点式の真空計兼用型）をポンプ操作部両側に取り付けること。
- エ 流量計（デジタル式）をポンプ操作部両側に取り付けること。
なお、各吐水口の吐水流量をそれぞれ別個に表示すること。
- オ 積算流量計（デジタル式）をポンプ操作部両側に取り付けること。
なお、左右の吐水流量の合計値（消防ポンプの吐水量の合計値）を表示すること。また、設定等のボタン操作は、ポンプ操作部右側とすること。
- カ 流量計及び積算流量計の電源は、PT0 スイッチに連動すること。
- キ 透明アクリル管式水量計（残量表示値は別途協議）をポンプ操作部両側に取り付けること。また、排水ドレーンを設けドレーンパイプを車体下部まで延長すること。
- ク 電子式水量計の表示部をポンプ操作部両側に取り付けること。

(17) 安全装置

- ア ポンプ圧力を設定した圧力に自動的に保つ調圧機能を備えること。
- イ 真空ポンプ保護のため、消防ポンプ高回転時は揚水スイッチが入らないこと。
- ウ 自動揚水装置の緊急停止スイッチを取り付けること。
- エ 自動揚水装置の緊急停止スイッチを押すとエンジンがスロットルダウン（アイドリング回転まで下げる）する機能を備えること。
- オ 各装置は、ノイズ及び電波等で誤作動のないよう十分な対策が取られていること。
- カ 水気、寒暖及び振動等に対し、十分な対策が取られていること。
- キ 真空ポンプはメンテナンスフリーの完全無給油式とし、内部に大量の水が流入しても問題がない耐久性を有すると共に、主ポンプと真空ポンプの間に空気と水を分離することにより水及び泥などがポンプ内に進入しない装置等を設けた構造とすること。
- ク 配管の曲部は努めて大きく取り、摩擦損失を最小限に抑えることとし、結合部はフランジを使用し点検整備時に脱着できる構造とすること。
また、各配管は軽量且つ耐久性に富んだアルミ製とすること。

(18) 警報装置

- ア 30秒経過しても揚水を完了しない場合に異常を知らせる警報装置を取り付けること。
- イ 水槽内の水量低下を知らせる警報装置を取り付けること。

(19) その他

- ア ボールコックは、すべてテフロン加工品とすること。
- イ ポンプグランド及びポンプ軸受けは、メカニカルシール式又はグランドパッキン式とすること。

5 車体の構造及び艤装

(1) 構造

- ア 車体の形状は箱形とし、積雪寒冷地に対応したオールシャッター仕様とすること。
- イ 車体は前方からGFRP水槽、ポンプ室、横引き吸管、後部収納庫等で構成すること。
- ウ 艤装材料は補助対象規格に定める数値、又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するアルミ製を務めて使用し、ボデー重量について可能な限りの軽量化を図るものとする。

エ 車体は、堅牢で十分な強度及び安定度を有し、機動性、耐久性、耐食性に優れ、重量バランスに優れたもので、常時登録された車両総重量の状態において、充分耐え得るものであること。また、車体の主要構造体であるサブフレームは鋼鉄製とし、それ以外の車体フレーム等はアルミニウム、FRP 素材を使用し総体的な重量軽減を図るとともに、車体の重量バランスにも配慮すること。

オ 車体フレームの主要構造体は、アルミニウムパネルにて構成された独立した左右のパネルフレームを結合し、構造体の強度はパネルフレームそのものと、左右の支柱のみで担保し、その他の支柱、梁、壁等は強度部材として一切必要としない内部レイアウトの自由度の高い構造とする。

なお、アルミニウム素材の使用にあたり応力や振動を緩和する装置を設けること。

カ 車体に使用するアルミ製のパネルは防錆処理(アルマイト処理)を施したものとすること。

キ 車体は、走行中の振動及びねじれ等に十分対処できるようにすること。

ク 長期間の使用で錆等の発生が無い構造とし、袋状構造の内部は防錆処理を確実に行うこと。

ケ シャッター開口部は、有効開口面積が最大となる構造とすること。

コ 別表「積載品」に記載する各種資機材を積載できる構造とすること。ただし、当本部の指定するものを除く。

サ 資機材収納部は、各種資機材を整然と収納し、かつ、容易に取り出すことができるようにすること。

シ 骨組をシャシーに取り付けるための重要なボルトには、ダブルナットを使用すること。

(2) 車体上部

ア 車体上部は全面アルミ縞鋼板張りとし、作業が容易にできるよう平坦に仕上げること。

イ 車体上部の前方及び後方に二段手すりを設けること。

ウ ポンプ室上部アルミ縞鋼板の適切な位置に開閉扉式ポンプ点検口を設けること。

なお、点検口は他の積載品及び装置に干渉することなく開閉できる構造とすること。

エ 水槽上部アルミ縞鋼板の適切な位置に開閉扉式水槽点検口を設け、開口部に水槽マンホールを配すること。

なお、点検口は他の積載品及び装置に干渉することなく開閉できる構造とすること。

オ 上記エ「開閉式扉式水槽点検口」に水道水補給用のヒンジ式扉（オス金具取り付け）を設けること。

カ 車体上部にアルミ縞鋼板製の資機材収納ボックスを設けること。

なお、施錠フック付の上蓋片開き式（上蓋裏面にネット取付）で、ダンパー等で容易に開閉ができ、雨水等の浸入・浸透がない防水構造であること。（合成樹脂性スノコ板付）

キ 車体上部の適切な位置に、8箇所以上のロープフック（ステンレス製、可倒式）を取り付けること。

(3) 車体側板

車体両側板は嵩上げ加工を施し、シャッター内の開口面積を最大限確保するため、シャッターの巻取り装置は嵩上げ部分に隠蔽する構造とし、赤色点滅灯及び作業灯を取り付けること。

(4) ポンプ操作部

ア ポンプ操作部の扉は、シャッター式とすること。

イ ポンプ操作部の床面（両側）は、アルミ製とし、シャッター扉の戸当部まで延長すること。

ウ 上記の床面は、傾斜を付ける等水が溜まることのない構造とすること。

エ ポンプ操作部上部に防火衣などを釣り下げるステンレスパイプとS字管フック（ビニールチューブ巻き）を左右各10個取り付けること。

オ ポンプ操作部の適切な位置に1段式ステンレス製物掛けフックを必要数取り付けること。

カ PTOスイッチを左右に取り付けること。

(5) 資機材収納部

ア 位置（扉の種類）

(ア) 水槽下部左側（下ヒンジ式扉）

(イ) ポンプ室上部

(ウ) 車体後部両側（上部シャッター式扉、下部下ヒンジ式扉）

(エ) 車体後面（シャッター扉）

イ 構造

(ア) 泥砂及び雨水等の進入を有効に防止し、長期間の使用で錆等の発生がない防水構造とすること。

(イ) 清掃作業等により水が滞留する恐れのある収納部は、床面に水抜き用穴（ドレインパイプを車体下部まで延長）を設けるとともに水が溜まることのないよう確実に排水できる構造とすること。

(ウ) 器具収納箱又は収納バッグ及び取り外し可能なスノコ板（合成樹脂製）を必要とする箇所に取り付けること。

(エ) 下ヒンジ式扉は、アルミ鋼板製とし軽量化を図ること。また、内側にアルミ縞板を張り衝撃吸収ダンパーを取り付けること。

なお、扉は軽量化を図るためアルミニウム製とし、スムーズに開閉（チェーンレス構造）でき油圧ダンパーによる開放防止措置を施し、かつシャッターを閉めることにより開放をロックする構造とすること。

(オ) 下ヒンジ式扉は、袋状構造の内部に入った雨水等を有効に排水できる構造であること。

(カ) 下ヒンジ扉の戸当部には、緩衝用ゴムを張ること。

(キ) シャッター扉はアルミ合金製（ボデー同色塗装）とし、バー式又はダブルハンドル式（施錠機能付）の手動上下開閉式とすること。

(ク) シャッター扉の戸当部は、ステンレス保護板張りとする。

(ケ) シャッター扉の巻取り部は、資機材等接触防止のカバー（注意喚起シール付き）を取り付けること。

(コ) 施錠装置の開錠用鍵は、努めて共通とすること。

(サ) 内部の寸法は、各種積載品を確実にかつ効率よく収納できるよう最大限有効にとること。

(シ) 引出装置は、収納物の重量を考慮した強度を有するとともに、資機材収納部の容積を最大限有効に活用できる構造とすること。

(ス) 器具収納箱又は収納バッグ及び各種積載品の積み降ろしが容易にでき、扉解放時に積

- 載品が落下しないよう展開式又はスライド式手摺りを必要とする箇所に有効に取り付けること。
- (セ) 走行中の振動等による荷崩れ防止のための締め付けベルトを必要とする箇所に有効に取り付けること。
- (リ) 各種装備品等により生じたデッドスペースには、これを有効に活用できるように小物入れ等を取り付けること。
- ウ 水槽下部左側
下ヒンジ式扉を取り付けること。
- エ ポンプ室上部
ポンプ室上部に棚を設け、床面はアルミ縞鋼板張りとし、折畳みホースが収納できる構造とすること。
- オ 車体後部両側
(7) 上部にシャッター式扉、下部に下ヒンジ式扉を取り付けること。
(イ) 内部に収納棚、収納箱又は収納バッグ、引出し装置等を設け、資機材を収納又は固定できる構造とすること。
- カ 車体後面
(7) シャッター式扉を取り付けること。
(イ) 加納式ホースレイヤーを積載できる構造とし、回転式電動油圧昇降装置を備えること。
(ウ) 加納式ホースレイヤー収納の上部に棚を設け、床面はアルミ縞鋼板張りとし、資機材が収納できる構造とすること。
- (6) リヤフェンダー部
ア 展開式ステップを左右各2個取り付けること。
イ 展開時にステップとして使用するための十分な強度を有した構造とすること。
- (7) 昇降用はしご
ア 車体後面右側に、昇降用の折畳み式はしごを設けること。
イ 使用時以外は、留具に収まる構造とし、走行中の衝撃等に十分耐えるように取り付けること。
ウ はしご横さんの踏み面に滑り止め加工をすること。
エ 展開時、はしごが後へ迫り出す構造とすること。
オ はしご上方の上り位置に上体を支えるための手すりを設け、上り位置付近のアルミ縞鋼板表面に防滑テープ処理を行うこと。
カ 昇降時の塗装剥離防止のため必要と認められる箇所にアルミ合金製保護板又はアルミ縞鋼板を張ること。
- (8) 積載はしご昇降装置
積載はしご昇降装置は電動式（ダンパー付）とし、三連はしごを次のとおり取り付けること。
ア 積載はしご昇降装置は、車体上部の進行方向に向かって左側に取り付けること。
イ 積載はしご昇降装置側面にとび口固定具（2本以上）を設けること。
ウ 点検用ハッチ開閉の支障にならない位置に取り付けること。

(9) 加納式ホースレイヤー昇降装置

ア 昇降装置は、ホースレイヤーの展開に十分に耐えうる昇降能力を有すること。

イ 昇降装置の固定確認灯を取り付けること。

ウ 夜間操作時に必要な作業灯及びスイッチを設けること。

エ 非常時には、手動にて昇降できる手動昇降装置を設けること。

(10) その他

ア ボデー外板等に使用するボルト、ナット及び蝶番はステンレス製とすること。

イ 車体の適切な位置に吸管スパナ、消火栓ハンドル、媒介金具、分岐器等の固定具を設け、必要と認める箇所にアルミ合金製保護板又はアルミ縞鋼板を取り付け、塗装剥離のないようにすること。

ウ 吹き流し用伸縮ポールは、上部にキャッチを設け、下部には受け台座を設けること。

6 電装品

(1) 電子サイレン

ア アンプは、50W以上で電子サイレン、電子警鐘、拡声機能及び音声合成機能を持つものとする。

イ 当本部が別途指示する消防用広報メッセージを拡声できること。

なお、ch 6～ch 9の追加を含むこと。

ウ 出動予告スイッチ（赤色）を運転席の適切な位置に設けること。

エ 渋滞通過スイッチ（黄色）を運転席及び隊長席の適切な位置に設けること。

オ 電子サイレン用のスピーカーは2個とし、GFRP製フルハイルーフ内蔵とすること。

カ 車外無線送受話器収納ボックスの適切な位置に電子サイレンアンプ用の増設マイクを取り付けること。

なお、キャブ内の電子サイレンアンプをこのマイクにより、リモートコントロールして外部拡声ができるようにすること。

キ 上記カの配線について、2個のマイクから電子サイレンまでそれぞれ別個の配線をする。（マイクと電子サイレンの途中で結線しないこと）

ク 電子サイレンに内蔵する音声後退警報は機能させないこと。

(2) モーターサイレン

ア モーターサイレンは、GFRP製ハイルーフ内蔵とすること。

イ スイッチは、運転席（プッシュ式、大型、赤色、照明付）及び隊長席足元（足踏式）の適切な位置にそれぞれ設けること。

なお、足踏式スイッチは、床面の凹凸やフロアマットによる影響を受けないようにブラケットを介して取り付けること。

ウ 足踏式スイッチは、接点方式の防滴型とすること。

(3) 警光灯類

ア 散光式赤色警光灯は、次のとおりとすること。

(ア) 高輝度LED型と回転灯型のハイブリットとすること。

(イ) GFRP製ハイルーフ内蔵型とすること。

イ 赤色点滅灯は、次のとおりとすること。

(ア) 高輝度LED型とすること。

(イ) キャブフロントパネル 2 箇所、フロントバンパー 2 箇所及び車体後面 2 箇所に、直付けにより取り付けること。

なお、車体後面の昇降用はしご及び積載はしご昇降装置と相互に干渉しないように取り付けること。

(ウ) 車体側板煽り部（左右）各 2 箇所に、埋め込みにより取り付けること。

(エ) バランス及び視認性を考慮した配置とすること。

(オ) 点滅パターンは視認性を考慮すること。

(カ) メンテナンスに支障のないように取り付けること。

(4) 作業灯

ア 高輝度LED型とすること。

イ GFRP製ハイルーフ側面（左右）各 1 箇所にボデー同色の台座を作成し取り付けること。

ウ 車体側板煽り部（左右）各 2 箇所に、埋め込みにより取り付けること。

エ 車体後面 2 箇所に、直付けにより取り付けること。

なお、車体後面の昇降用はしご及び積載はしご昇降装置と相互に干渉しないように取り付けること。

オ バランス及び照射範囲を考慮した配置とすること。

カ メンテナンスに支障のないように取り付けること。

(5) 照明灯

ア 照明灯は、DC24Vを電源とした可倒伸縮型LED 4 灯式で 1 灯あたり 100W以上の光量を有した照明機とし、車体の左右いずれかでもリモコンで操作できるものとすること。

イ ハイルーフ上部中央の適切な位置に取り付けること。

ウ 取付部分の防錆及び防水の処理を確実に行うこと。

エ キャブ及び台座は、照明灯本体の重量及び車両走行中の振動等に十分耐えられるよう適切に補強を行うとともに、照明灯本体のメンテナンスを十分考慮した構造とすること。

オ 照明装置の動作（起立・上下・収納・旋回・俯仰角度・点灯・消灯）は、有線リモコンで操作できること。

カ 有線リモコンをポンプ操作部左右の適切な位置に取り付けること。

なお、有線リモコンは専用フック掛けによる収納とすること。

(6) その他の照明等

ア GFRP 製ハイルーフ側面（左右）各 1 箇所に隊名標識灯（白色プレート）をボデー同色の台座を作成し取り付けること。

なお、照明は白色 LED を使用し車幅灯に連動すること。

イ 次の箇所に、LED照明灯を取り付けること。

(ア) ポンプ操作部計器類付近（両側）

(イ) 透明アクリル管式水量計（両側）

(ウ) 資機材収納庫及びシャッター内

照射範囲を考慮し効果的に取り付けること。また、扉の開閉により点灯する個別のリミットスイッチ等を設けること。

(エ) 消防無線送受話器ボックス内

(オ) 車体上部デッキ部

- (カ) その他必要と認める箇所
- ウ LED車幅灯を車体側面後端上下部（左右）に取り付けること。
なお、運転席から視認できる適切かつ有効な位置とすること。
- エ LED路肩灯を後輪付近（左右）に取り付けること。
なお、運転席から視認できる適切かつ有効な位置とすること。
- (7) 無線雑音防止装置等
 - ア 各電装品は、無線障害の原因とならないものを使用すること。
また、その虞がある製品には、セラミックコンデンサーを取り付けるなど有効な防止対策をとること。
 - イ 次の箇所にはボンディングアースを取り付けること。
なお、アース線は基本的に平織のアース線とし、金属で両側端末を処理したものとする
こと。
 - (ア) エンジンブロックとシャシーフレーム
 - (イ) ラジエターとシャシーフレーム
 - (ウ) ミッションケースとシャシーフレーム
 - (エ) キャブとシャシーフレーム
 - (オ) キャブとドア
 - (カ) サスペンションとシャシーフレーム
 - (キ) その他必要と認める箇所
- (8) 架装用スイッチ等
 - ア 架装系のスイッチは、専用の集中スイッチパネル（大阪サイレン製SBW-100）に努めて集約すること。（当本部の指定するものを除く）
 - (ア) 取り付け位置は、ダッシュバンの適切な位置とすること。
 - (イ) 使用電気容量に十分見合うものとする。
 - (ウ) 各スイッチには、「名称」と「ON/OFF」を明記した銘板を取り付けること。
 - (エ) 各スイッチは、確認灯付とすること。
 - イ PTO作動確認灯を設けること。
 - ウ 車体取り付けの外部スイッチには、ステンレス製保護枠を取り付けること。
- (9) その他
 - ア 車体後面上部中央に補助制動灯を取り付けること。
 - イ 車体後面上部中央にバックアイカメラを取り付けること。
なお、上記ア「補助制動灯」の下方に取り付けること。
 - ウ 尾灯及び後退灯等は埋め込み式とすること。
なお、後退灯は2個取り付けること。
 - エ シャッター及び資機材収納庫扉に開閉センサーを取り付け、連動するシャッター開放警報ランプ及びブザー（サイドブレーキ連動）をキャブ内の適切な位置に取り付けること。
 - オ 音声後退警報器を次のとおり取付けること。
 - (ア) 車体後部の適切な位置に取り付けること。
 - (イ) 音声後退警報カットスイッチを集中スイッチパネル（大阪サイレン製 SBW-100）に設けること。

(り) 車幅灯連動による後退警報カットは機能させないこと。

7 消防無線電話装置

当本部が支給する消防無線電話装置を次のとおり取り付けること。(旧車両から移設)

(1) 機器(富士通製)

ア デジタル無線機1台(キャブ内後部)

イ デジタル無線機セパレーター1台(ダッシュボード助手席側)

ウ デジタルアンテナ2本(ルーフ上部左右)

エ 送受信器及び送受信器ホルダー(ダッシュボード助手席側1箇所、外部送受信器ボックス左右各1箇所)

オ スピーカー車内/車外切替スイッチ(キャブ内)

(2) 雑音が入らないよう、アースボンディング、ノイズフィルター、コンデンサー等の雑音防止対策を行うこと。

(3) 取付けにあたっては、防錆及び防水の処理を確実にすること。

(4) 移設に係る新規部材は受注者の負担とする。

ア ラップ型スピーカー(キャブ内1個、外部スピーカーボックス左右各1個)

イ その他必要とするもの

8 AVM(車両動態表示装置) 端末機器

当本部が支給するAVM端末機器(補助端末を含む)を次のとおり取り付けること。(旧車両から移設)

(1) モニターは、ダッシュボード中央に取り付けること。

(2) 端末本体は、キャブ内の適切な位置に取り付けること。

(3) 補助端末(4動態)は、車外無線送受信器収納ボックスに取り付けること。

(4) 取付けにあたっては、防錆及び防水の処理を確実にすること。

(5) 移設に係る新規部材は受注者の負担とする。

9 受令機

当本部が支給する受令機を次のとおり取り付けること。(旧車両から移設)

(1) 機器(CSR製)

ア 受令機1台(オーバーヘッドコンソール助手席側)

イ アンテナ1本(ルーフ左側面)

ウ 専用マイク1個(オーバーヘッドコンソール助手席側)

エ スピーカー

(2) 取付けにあたっては、防錆及び防水の処理を確実にすること。

(3) 移設に係る新規部材は受注者の負担とする。

10 塗装要領

当車両は、道路融雪剤(塩化カルシウム)を冬期間に大量散布する積雪地域で使用するため、特に泥が跳ね上がる箇所及び各構成材の接合部の処理を確実にし、基本的に次によるものであること。

(1) 色度性能:1000時間以上のサンシャインウェザー試験にて色度低下率10%以内。

(2) 防錆性能:1000時間以上のキャス(塩水噴射加速試験)試験にて錆が発生しないこと。

(3) 塗装性能:塗装色ロック739080同等品以上とし、塗膜厚60 μ m以上であること。

ア 塗装にあたっては、完全防錆加工を施し、下地調整を十分に行ってから溶剤を完全に揮発・乾燥後に上塗り塗装をすること。

イ 上塗り塗装は3回以上行い、熱風乾燥後に焼付け塗装を行うこと。

ウ コンパウンド及びワックスにより十分磨き上げを行うこと。

エ アルミ縞板使用部は無塗装とすること。

11 特殊防錆塗装

次の箇所には、特殊防錆塗装（ジーバード塗装）を行うこと。

- (1) キャブ下廻り及びキャブ立ち上がり部
- (2) ドア内側
- (3) フェンダー内側
- (4) 架装部収納ボックス等の袋状扉内部（アルミ製及びステンレス製は除く。）
- (5) シャシー下廻り
- (6) 架装部下廻り
- (7) その他必要と認める箇所

12 文字記入等

- (1) フロントパネル、キャブ両側及び車体後面に白色フィルムを貼り付けること。
「2」
- (2) フロントパネル及び車体後面に白色フィルムを貼り付けること。
「一戸ポンプ」
- (3) キャブ両側及び車体後面に白色フィルムを貼り付けること。
「二戸広域消防」
- (4) GFRP 製ハイルーフ前面、車体後部両側シャッター扉及び車体後面に白色フィルムを貼り付けること。
「F I R E」
- (5) 車体両側に白色フィルムを貼り付けること。
「ポンプ車」
- (6) GFRP 製ハイルーフ上面に白色フィルムを貼り付けること。
「一戸ポンプ」
- (7) 車体上部資機材収納ボックス上面に赤色フィルムを貼り付けること。
「岩手二戸」
- (8) GFRP 製ハイルーフ側面（左右）の標識灯（白色プレート）に黒色フィルムを貼り付けること。
「一戸ポンプ」
- (9) 燃料タンクカバーの給油口付近に黒色フィルムを貼り付けること。
「軽油」、「100L」
- (10) 水槽マンホールの最外面に青色フィルムを貼り付けること。
「水槽マンホール」
- (11) その他の記入文字は別途指示する。
- (12) 文字の書体、大きさ及び位置は別途指示する。

13 銘板等

銘板等の取り付けは、次のとおりとすること。（本仕様書において別途指示してあるものを除く）

- (1) スイッチ類には、「名称」及び「ON/OFF」の表示をすること。
- (2) 計器類には、名称を表示すること。
- (3) バルブ、コック類には、名称及び開閉方向を表示すること。
- (4) 操作装置は、名称及び操作方向等を表示すること。
- (5) 燃料補給口には、油種表示をするとともに、外部から確認しやすいよう最外面に「給油口」と表示すること。
- (6) 消防ポンプ自動車の受託試験及び特殊消防ポンプ自動車の鑑定合格の銘板を適切な位置に取り付けること。
- (7) アルミプレートに印字した銘板を、次のとおり取り付けること。
 - ア フロントバンパーにフロントバウシャックル許容荷重表示
「許容荷重 2 t」 「左右同時使用不可」
 - イ その他必要と認めるもの

14 反射テープ

- (1) 活動中の接触防止のため、反射テープ（黄色）を適切な位置に張り付けること。
- (2) 貼り付ける箇所は、次のとおりとすること。
 - ア キャブのすべての扉
 - イ 資機材収納部の扉（シャッター式扉を除く）
 - ウ 積載はしご昇降装置
 - エ 車体後面昇降用はしご
 - オ バッテリーボックスの横ヒンジ式扉
 - カ ホースレイヤー
 - キ その他必要と認める箇所
- (3) 反射テープは、住友スリーエム製スコッチライト（高輝度タイプ981-71型）、又は同等以上の性能があるものとする。
- (4) 反射テープの色は、黄色とすること。
- (5) 道路運送車両の保安基準第 38 条の 3、第 42 条及び道路運送車両の保安基準の細目を定める告示に適合すること。

15 防滑テープ

- (1) 活動中の滑落防止ため、防滑テープ（黒色）を適切な位置に貼り付けること。
- (2) 貼り付ける箇所は、次のとおりとすること。
 - ア 昇降用はしごの横さん
 - イ 昇降用はしごの車体上部上がり口
 - ウ 資機材収納部下ヒンジ式扉及びリヤフェンダー展開式扉のステップ
 - エ サイドステップ
 - オ その他必要と認める箇所

16 取付品、積載品及び附属品

車両とともに納入する取付品、積載品及び附属品は、別表のとおりとし、この仕様書で指定するもの以外で公表された標準添付品は、すべて納入すること。

別表

No.	品名	仕様	数量
I	シャシー	日野デュトロ	1
1	フロントバンパー	上面アルミ縞鋼板	
2	フロントグリル	純正クロームメッキ	
3	牽引フック	車両前後、前方パウシャックル	
4	シャシーメインスイッチ	LED灯、予備2個付	
5	エアコン	シャシー純正品	
6	リヤヒーター	シャシー純正品	
7	アワアメーター	シャシー純正品	
8	電圧計	デジタル式	
9	電流計	デジタル式	
10	サイドバイザー	シャシー純正品、樹脂製、全ドア	
11	AM/FMラジオ	GPSナビゲーションシステム内蔵	
12	時計	シャシー純正品、大型デジタル時計	
13	室内灯(大)	LED室内灯(大)、前席及び後席上部、スイッチ付、ドア開閉非連動	
14	室内灯(小)	LED室内灯(小)、運転席及び隊長席上部、スイッチ付、ドア開閉非連動	
15	フレキシブルマップランプ	LED、隊長席、後席左右	
16	デイトタイムランプ	フロントグリル部	
17	フットランプ	LED、全ドア、ドア開閉連動	
18	リヤシート	背もたれカットシート	
19	超防汚シート	全席、オレンジ/ブラック	
20	センターシート下物入れボックス	シャシー純正品	
21	地団入れボックス	シャシー純正品、後席、A3サイズ、携帯無線機ボックス付	
22	ルーフセンターコンソール	下部パンチングメタル、落下防止ネット付	
23	ルーフリヤコンソール	下部パンチングメタル、落下防止ネット付	
24	ルーフネット	前席上部2箇所、後席上部2箇所	
25	サンバイザー	運転席、助手席	
26	隊長席アシストグリップ	隊長席上部	
27	フロントガラス上部アウターグリップ	ボデー同色	
28	前席乗降用アウターグリップ	Bピラー左右各1箇所、ボデー同色	
29	後席乗降用アウターグリップ	Cピラー左右各1箇所、ボデー同色	
30	後席乗降用インナーグリップ	キャブ内Bピラー左右各1箇所	
31	アウターミラー	左右、リモコン鏡面調整、ヒーター付	
32	隊長席補助ミラー	黒色	
33	マッドガード	ゴム製、黒色、全輪	

別表

34	LSD		1 式
35	フェーエルヒーター		1 式
36	寒冷地仕様		1 式
37	キッキングプレート		1 式
38	フォグランプ		1 式
39	坂道発進補助装置		1 式
40	中間パイプ用S字管フック	ビニーチューブ付き10個	1 式
41	後部一段物掛けフック		1 式
42	ボンディングアース		1 式
43	フェンダー足掛け取付け左右		4 個
44	ロープフック		8 個
II 標準積装(車体と一体となるもの)			
1	消防ポンプ自動車(CD-I型)規格	無給油式真空ポンプ、A-2級消防ポンプ(アルミ)、軽量配管	1 式
2	記入文字	前、後、左右、ルーフ ※文面に記載	1 式
3	シャッター塗装		1 式
4	その他積載品積載装置		1 式
III 備えなければならない取付品及び取付装置(車両と一体となるもの)			
1	ポンプ圧力計	100mm、ポンプ操作盤両側	1 式
2	ポンプ連成計	真空計兼用、上部0点、100mm、ポンプ操作盤左右各1	1 式
3	エンジン回転計	シャシー標準	1 式
4	エンジン油温計	シャシー標準	1 式
5	赤色警光灯	ハイルーフ警光灯 50Wスピーカー2個、5SAモーターサイレン1個内蔵型	1 式
6	電子サイレン	大阪サイレン TSK-D152(音声メッセージch.6~10追加) 後席増設マイク1個(専用)、ポンプ操作盤増設マイク2個(汎用)	1 式
7	後退警報器	音声式、停止スイッチ付(10連スイッチ内)、左折なし、ライト連動なし	1 式
8	標識灯	白色プレート、LED照明、GFRPハイルーフ側面(左右)	1 式
IV 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置(車体と一体となるもの)			
1	GPSナビゲーションシステム	Panasonic CN-G1500VD ダッシュパン上部に取付 スタンド CA-PT20D、アンテナ CA-PDTNF26D、ACアダプター CA-PAC22D	1 式
2	電動サイレン	赤色警光灯に内蔵	1 式
3	真空計	連成計を兼用	1 式
4	ポンプ回転計	ポンプ操作盤両側	1 式
5	流量計	デジタル式、ポンプ操作盤4口	1 式
6	積算流量計	デジタル式、ポンプ操作盤両側、総流量表示機能	1 式
7	液晶ディスプレイ	ポンプ操作盤	1 式
8	キャプチャルト装置	シャシー標準	1 式
9	オイルパンヒーター	サーモ式、100V、マグネット式コード10m	1 式

別表

10	ポンプアンダーカバー		1 式
11	不凍液注入装置	手動バルブ付、1.0L以上	1 式
12	スタッドレスタイヤ	ブリヂストン製スタッドレス W979、鉄製ホイール付	1 式
13	作業灯(側面)	利他製 M7ZC24、FRPハイルーフ2個、煽り部埋込4個	1 式
14	作業灯(後面)	利他製 M7ZC24、2個	1 式
15	照明灯	テックライト製ループロボRRTM-EL TYPE又は同等品 (DC24V=100W×4灯式、有線リモコン2個)	1 式
16	車外無線機送話機取出口(左・右)	ポンプ操作盤両側	1 式
V 特別積装(車体と一体となるもの)			
1	GFRPフルハイルーフ	キャブバック 170mm	1 式
2	アルミボデー、水槽GFRP	水槽容量1300L以上、収納庫及び固定装置等を含む	1 式
3	オールシャッター	バー式又はダブルハンドル式、ボデー同色	1 式
4	サイドステップ延長		1 式
5	キャブ下カバー取付	右側バッテリー収納、左側燃料タンク(カバー付)	1 式
6	車体上部アルミ縞鋼板張り	フルフラット	1 式
7	車体側板上部延長煽り取付	シャッター巻取隠蔽	1 式
8	吸管巻取り装置	サイドプル式左右取出し、電動	1 式
9	ポンププロポーショナー	配管内蔵型	1 式
10	加納式ホースカー昇降装置	回転式	1 式
11	車体上部資機材収納ボックス	アルミ縞鋼板製、長尺大型	1 式
12	昇降用はしご(折畳式)	車体後面右側、車体上部補助手すり	1 式
13	積載はしご昇降装置	車体上部左側、電動式、シーソー型、とび口固定具(2本以上)	1 式
14	車外無線機スピーカー(左・右)	ポンプ操作室両側	1 式
15	オーバーヘッドコンソール	各種機器及びスイッチ等取付け、LED盤面照明	1 式
16	キャブ内センターコンソール	AVMモニター台座、地図入れ及び資機材ボックス兼用	1 式
17	ポンプ自動調圧装置		1 式
18	水槽補給口キャップ(65オス)		2 個
19	水槽取り出し口左右		2 式
20	機装メインスイッチ		1 式
21	マグネットコンセント改造		1 式
22	ポンプ室内灯(LED)		1 個
23	エンジン室内灯		1 式
24	PTOスイッチ増設	左右ポンプ操作部	1 式
25	特殊防錆塗装	ジーバート塗装	1 式
VI 取付品(車体と一体となるもの)			

別表

1	水タンク水量計	透明アクリル管式、電子式(警報ブザー付)	1式
2	水タンクヒーター	常時通電、マグネット式コード10m	1式
3	吸水コックヒーター	サーモ式、巻き付け型	1式
4	消防章	150mm、メッキ、フロントグリル中央部	1式
5	LED赤色点滅灯(フロントパネル)	利他製 M7FCR24、フロントグリル上部2個	1式
6	LED赤色点滅灯(フロントバンパー)	利他製 TLMIBR24、フォグランプ上部2個	1式
7	LED赤色点滅灯(車体側板煽り部)	利他製 M7FCR24、煽り部埋込4個	1式
8	LED赤色点滅灯(後面)	利他製 M7FCR24、2個	1式
9	ポンプ計器灯	必要数	1式
10	収納庫内等LED照明灯	必要数	1式
11	車体上部デッキ部LED照明灯	必要数	1式
12	集中スイッチ(10連)	大阪サイレン SBW-100	1式
13	路肩灯	LED	1式
14	車幅灯	LED、車体後部両側後端上下部埋込	1式
15	後部上側端灯	LED、オレンジ	1式
16	補助制動灯	LEDハイマウントストップランプ、車体後面上部中央	1式
17	電子インナーミラー・バックカメラ	ミラー:ルーフミラー位置に取付 カメラ:車体後面上部に取付	1式
18	ドライブレコーダー		1式
19	ETC車載器	アンテナ分離型、音声案内	1式
20	DC/ACインバーター	AC100V、正弦波出力、定格出力500W以上、コンセント2口以上(定格容量表示)	1式
21	外部入力電源コンセント	AC100V、キャブ内コンセント2口以上(定格容量表示)	1式
22	自動充電装置	七宝電子工業 ずぼら充電器又は同等品	1式
23	隊長席標準シート	隊長席	1式
24	空気呼吸器取付装置	後席3基 ローラーホルダー 赤黒	1式
25	トランジスターメガホン収納	2箇所	1式
26	吹き流し用伸縮ポール立て		1式
27	受令機(支給品)	旧車両から移設、アンテナ基台1個新規、スピーカー3個新規、移設に係る新規部材を含む	1式
28	登録ナンバープレートフレーム(前・後)		1式
Ⅶ 備えなければならない附属品(別表第2)			
1	吸管(巻取り装置用)	75mm以上×10m、反射線入	1本
2	吸管(上部積載用)	75mm以上×2.5m、反射線入	4本
3	吸水口ストレーナー	樹脂製	2個
4	吸管ストレーナー	吸管ちりよけ籠に含む	2個
5	吸管ちりよけ籠	ストカゴ 16SKGF3P	2個
6	吸管枕木	樹脂製、バンド付	2個

別表

7	吸管控え綱	吸管ちりよけ籠に含む	2本
8	吸管用消火栓媒介金具	軽合金、75mmメスネジ×65mm差込メス、キャップ付	2個
9	中継口媒介金具	軽合金、65mmメスネジ×65mm差込メス、キャップ・チェーン付	2個
10	消火栓開閉金具(地上式)	茂又式	1個
11	消火栓開閉金具(地下式)		1個
12	吸管スパナ		2個
13	管そう(65mm)	YONE e-ノズルフォルダー PEH-65K	2本
14	ノズル(可変噴霧)	YONE NV-65W-II	2個
15	ノズル(スムーズ)	軽合金、20mm・23mm各1個	1式
16	吐水口媒介金具(65mm・50mmマルチ)	軽合金、65mmメスネジ×50・65mm差込オス、スィーベル式	2個
17	吐水口媒介金具(65mm)	軽合金、65mmメスネジ×65mm差込オス	2個
18	とび口(1.8m)	熱処理済品、グラスファイバー柄	5本
19	金てこ	1.5m、熱処理済品	1本
20	剣先スコップ		1丁
21	加納式ホースレイヤー	型式適合評価品 長野ポンプ NGN25A又は同等品 分岐器固定・ノズル固定・媒介金具固定付	1台
22	3連はしご(鑑定品)	関東梯子、チタン製、KHFL-CT74	1脚
23	車輪止	ゴム製	4個
24	消火器(検定品)	自動車用、ABC粉末6kg	1本
25	ポンプ工具		1式
26	消防ホース(65mm)	1.6MPa、20m、「二戸広域消防」ネーム及び管理番号入、動産保険1年付き	3本
VIII 軽微な変更として備えることができる附属品			
1	タイヤチェーン(鉄製ラダー式)		1式
2	分岐器(65mm)	YONE WB-65・65	1個
3	ホースブリッジ	コンパクトブリッジ(2本用)、寒冷地仕様	2組
4	ワイヤーロープ	12mm×15m、12mm×5m、12mm×3m、両端輪付	1式
5	おの	大、熱処理済品	1丁
6	掛矢		1本
IX 附属品			
1	低水位ストレーナー	サイズ75、固定金具付	1個
2	吸水口エルボ		2個
3	中継口ストレーナー	樹脂製	2個
5	水槽補給口媒介金具	軽合金、65mmメスネジ×65mm差込メス	2個
6	水槽補給口ストレーナー	樹脂製	2個
7	手おの	トップマントビ又は同等品	3丁
8	絶縁ボルトクリップ		1本

別表

9	分岐器(65mm・50mmマルチ)	YONE WB-65MC	2 個
10	媒介金具(65mm差込メス×50mm差込オス)	軽合金	4 個
11	媒介金具(65mm差込オス×65mm差込メス)	軽合金	4 個
12	媒介金具(40mm差込メス×50mm差込オス)	軽合金	2 個
13	媒介金具(40mm差込オス×50mm差込メス)	軽合金	2 個
14	媒介金具(65mm差込メス×65mm差込メス)	軽合金	2 個
15	媒介金具(65mm差込オス×65mm差込オス)	軽合金	2 個
16	ガンタイプノズル(50mm)	DELTA FIRE スムースホア ファイヤーノズル(呼び50)、ジェット/スプレーアタッチメント	2 個
17	ガンタイプノズル(40mm)	DELTA FIRE Attack100DAN(呼び40)	1 個
18	消防ホース(40mm)	1.6MPa、20m、「二戸広域消防」ネーム及び管理番号入、動産保険1年付	3 本
19	ストップバルブ(50mm)	東京サイレン TS-0601	2 個
20	ストップバルブ(65mm)	東京サイレン TS-3049	2 個
21	ホースバッグ(50mm)	FS JAPAN ホースバッグⅡ W50-65「二戸広域消防」ネーム入	4 個
22	ホースバッグ(65mm)	FS JAPAN ホースバッグOFD「二戸広域消防」ネーム入	4 個
23	ホースクランプ		2 個
24	空気呼吸器	※1式あたり重松製作所A1-12、拡声器付きCX面体(M)、予備拡声器付きCX面体(M)、拡声器充電器、ボンベ 730CⅢAZ 2本	3 式
25	携帯警報器	MSA モーションスカウトK-T-R キータイプ又は同等品	3 個
27	ハンディーGPS	ガーミン GPSMAP67 リールストラップ・液晶保護フィルム・ACアダプタ	2 式
28	携帯強カライト	レッドレンザー P17R CORE・予備バッテリー1個	3 式
29	トランジスターメガホン	レイニーメガホン TS-533L ホイッスルモデル	2 個
31	セーフティーコーン	折畳式	6 個
32	LED合図灯		3 本
33	発動発電機(900W)	ホンダ EU9i	1 台
34	信号器付投光器	ヤマハ クロスバスター E054 専用三脚、コード30m(リールなし)、車両積載用収納バッグ(FS JAPAN)	1 式
35	コードリール	ハタヤ SS-30	2 個
36	防水型デジタルカメラ	OLYMPUS STYLEUS TG-7 Tough ケース、LEDライト LG-1、充電器 UC-90、リチウムイオン充電電池 LI-92B、カラビナ付カメラケース CSCH-107(2個)、SDカード SanDisk SDSDY5-016C-II3	1 式
37	工具セット	KTC SK3560P又は同等品、キャリングトレイ SK308P-S付	1 式
38	ガソリン携行缶	5L	1 個
39	携帯電話	NTTドコモ DuraForce EX KY-51D ドコモスマートフォン(Bluetooth内蔵)、卓上ホルダ2個、ACアダプタ2個、DCアダプタ2個、ヘッドセット SHOKZ OPENCOMM2 2個	1 式
40	ホース漏水止め応急バンド		10 個
41	熱画像直視装置	FLIR K55	1 台
42	映像記録装置	GoPro HERO12Black、マクドナルドカメラケース、保護フィルム、Enduroバッテリー、3way2.0、Chesty、サクションカップ、SanDisk 128GB micro SDHC、Caseyセミハードカメラケース	1 式
43	風速計	エンベックス気象計 ウィンドメッセ	1 台
44	高性能ライト	ストリームライト サバイバーX	3 式
45	噴霧機能付きスムーズノズル	YONE ボアテックスノズル NV-50VX(呼び50)	1 個

別表

46	充電式チェーンソー	マキタ 充電式チェーンソー MUC019GZ2、パワーソースキット XGT7、替え刃、ファンクションチャップス(STIHL製)	1 式
47	充電式スタンドライト	マキタ 充電式スタンドライト ML004G、三脚、フラットバー、パワーソースキットXGT8、予備バッテリー BL4040F 2個	1 式
48	消防ホース(50mm)	1.6MPa、20m、「二戸広域消防」ネーム及び管理番号入、動産保険1年付	3 本
49	吹き流し	吹き流し(伸縮ポール付き)	1 式
50	ハリガンツール	ライトレスキュー ハリガン30	1 本
52	車両救助用安定器具	ウェーバースタブパック	2 式
54	充電式チップソーカッター	マキタ 充電式チップソーカッターCS001GZ、パワーソースキットXGT7、替え刃	1 式
57	バッテリーチェッカー	HITACHI HCK-602FB	1 台
58	急速充電器	ACデルコ AD-3007	1 台
59	ファイヤーブランケット	YONE CAR PRO X YFB-CPX	1 枚
X その他の附属品			
1	フロアマット	シャシー純正品、全席	1 式
2	冬用ワイパー	シャシー純正品	1 式
3	タイヤチェーン(ワイヤー式)	SCC JAPAN、ケーブルチェーンSR	3 式
4	鍵	エンジンキー、資機材収納部、その他施錠装置 各3本	1 式
5	補修用塗料	ボデー塗色、その他塗色各1缶	1 式
6	シリコンスプレー	YONE メンテナンスオイルスプレー 500S	3 本
7	タイヤゲージ	旭産業 7-ISO	1 本
8	バルブキャップドライバー	旭産業 CD-55L	1 本